

## 巡回診療の様子

本日の訓練の一環として巡回診療が行われました。救護班の方々が救護班と避難者に分かれ、様々な状態を想定しての診療を行いました。

普段診療する側の救護班の方に避難者になってみての感想を聞いたところ、「避難者は要点ばかり言える人ではなく、聞く側として考えさせられることが多い」といった意見が出ました。

また、他の参加者は「自分の外傷以外の見えない部分の状況を伝えることは難しく、表情から汲み取るなど言葉以外の受け取り方もあるのではないかと考えさせられた」といった救護班としての新たな課題も見出していました。



救護班と避難者に分かれて訓練を行っています